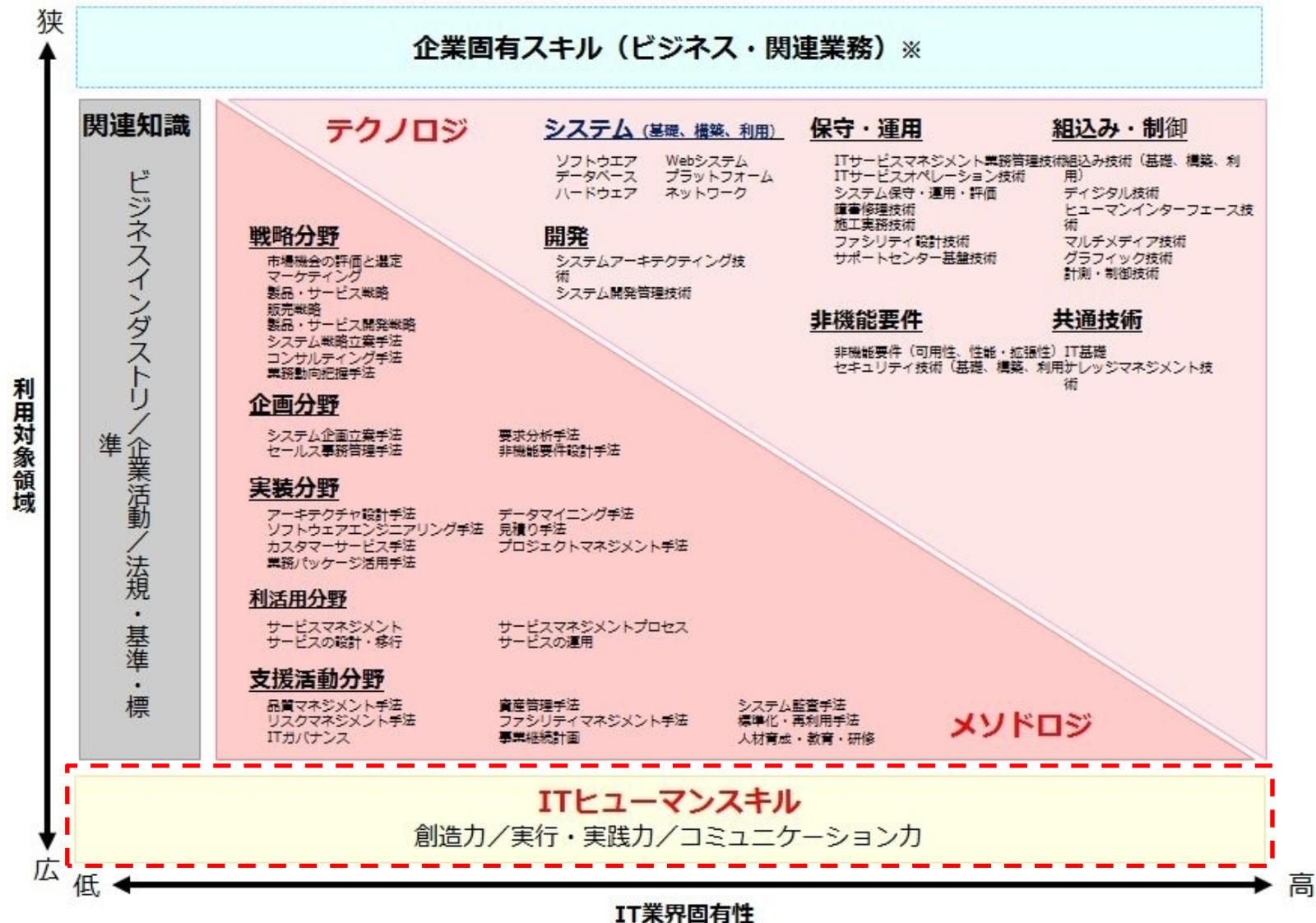


ヒューマンスキルに対する評価

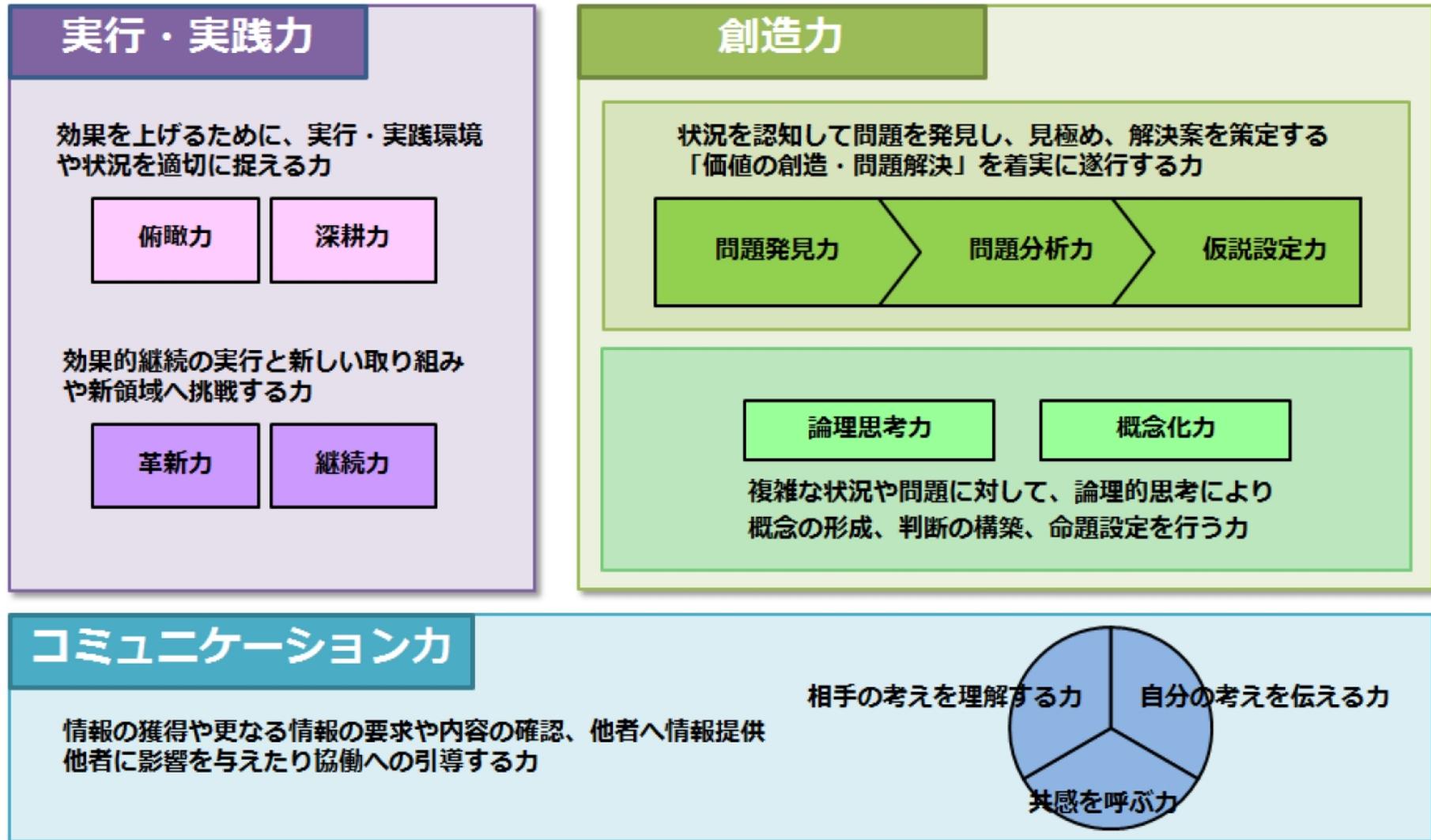
ヒューマンスキル体系の作成 (1/3)

■iコンピテンシ・ディクショナリにおけるITヒューマンスキルの位置付け



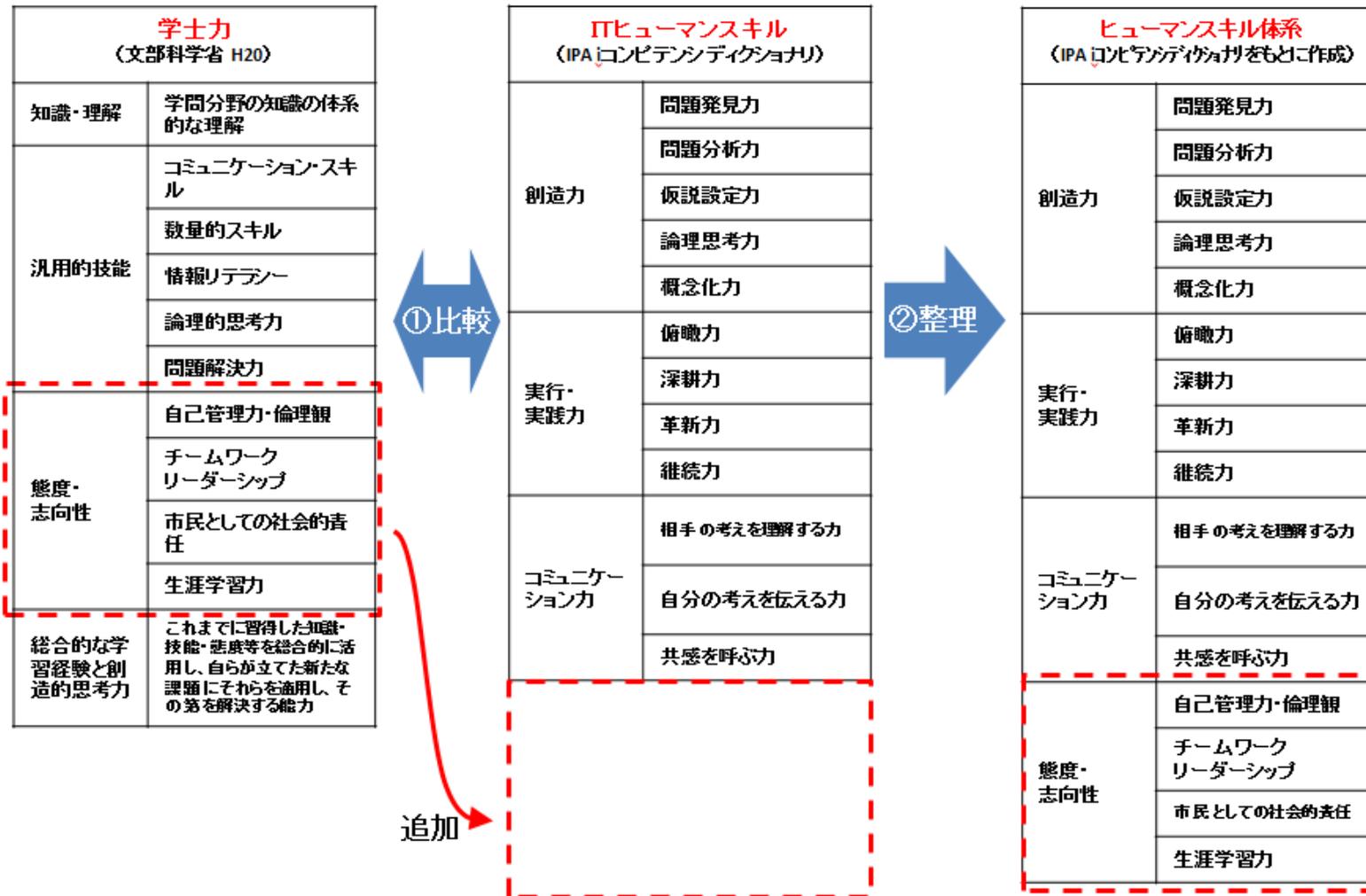
ヒューマンスキル体系の作成 (2/3)

■iコンピテンシ・ディクショナリにおけるITヒューマンスキルの構成



ヒューマンスキル体系の作成 (3/3)

■情報・IT分野のヒューマンスキル体系(案)の整理



- コンピテンシ・ディクショナリのITヒューマンスキル体系をもとに文科省「学士力」で述べられているスキルの一部を追加し、ヒューマンスキル体系(案)を整理
- 整理したヒューマンスキル体系に対して、対象とする学科のカリキュラムで習得可能か明確にする

情報・IT分野の第三者評価基準の検討

自己点検・評価表の改訂 (1/3)

■自己評価表(例)の項目(63項目)

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流(必要に応じて)



ISO29990を参照し、国際通用性を持たせた項目に改訂

※文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」より

項目別の自己評価表(例)イメージ(専門学校) 別添3

※以下は例示に過ぎないものであり、各学校の教育目標・重点目標等を達成するために必要な項目・指標等を設定することが重要。
 ※また、1(不適切)~4(適切)の評価のみでなく、課題を確認し、今後の改善方針については次年度以降の取組への活用を具体的に記述することが望まれる。また、特記事項についても、自校の特色となるような取組について記載することが望まれる。

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況
 - (1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4	3	2	1
 - ① 課題
 []
 - ② 今後の改善方針
 []
 - ③ 特記事項
 []

自己点検・評価表の改訂(2/3)

■ 自己点検・評価表に反映した主なISO29990の項目

3.1.2: 利害関係者のニーズの把握

3.3.1: 情報提供及びオリエンテーションの実施

3.3.2: 学習のための人的・物的資源の利用可能性の確保

3.5.1: 評価の目標及び範囲の明示

3.5.3: 学習サービスの評価の実施

4.6.1: 学習サービス事業者のスタッフ及び協力者のコンピテンシーの明示

4.6.2: 学習サービス事業者のコンピテンシー、パフォーマンス管理、専門能力開発に対する評価

4.9 : 内部監査の実施

(備考)

- 3.3.1(情報提供及びオリエンテーションの実施)と3.3.2(学習のための人的・物的資源の利用可能性の確保)の2項目については、できていることが当然であるためにチェック項目として挙げられていなかったものと推察された。しかしながら、「グローバル化への対応」と考えれば、こうした「日本国内で学校と呼ばれている組織であればできている当然」という項目についても、「できている」ということを外部に伝える(情報を公開する)ことが必要となると判断し追加を行った。

自己点検・評価表の改訂 (3/3)

■改訂した自己点検・評価表(91項目)

自己点検・評価表 (ISO 29990 対応版 Ver. 2.0)

実施日: 平成 年 月 日
学校名: _____

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切-4、ほぼ適切-3、やや不適切-2、不適切-1	エビデンス(文書番号)
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1	
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4 3 2 1	
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1	
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4 3 2 1	
1	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1	

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

4 学修成果		適切-4、ほぼ適切-3、やや不適切-2、不適切-1	エビデンス(文書番号)
4	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4 3 2 1	
4	2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1	
4	3 評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4 3 2 1	
4	4 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 3 2 1	
4	5 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4 3 2 1	
4	6 ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 3 2 1	
4	7 学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4 3 2 1	
4	8 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 2 1	

5 学生支援		適切-4、ほぼ適切-3、やや不適切-2、不適切-1	エビデンス(文書番号)
5	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1	
5	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1	
5	3 保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1	
5	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1	
5	5 卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1	
5	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4 3 2 1	
5	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1	
5	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1	

改訂した自己点検・評価表を次年度も参画校にて試用し、結果をフィードバックする予定

第三者評価基準の作成

■ 第三者評価基準の検討プロセス

<大学評価基準>

1.大学の目的、教育理念
2.教育研究組織
3.教員及び教育支援者
4.学生の受け入れ
5.教育内容及び方法
6.学習成果
7.施設設備及び学生支援
8.教育の内部質保証システム
9.財務基盤及び管理運営
10.教育情報等の公表

<改訂した自己点検・評価表>

1.教育理念・目標
2.学校運営
3.教育活動
4.学修成果
5.学生支援
6.教育環境
7.学生の受入れ募集
8.教育の内部質保証システム
9.財務
10.社会貢献・地域貢献
11.国際交流(必要に応じて)

<CCSFをもとに抽出した評価項目>

1. ソフトウェア要求分析
2. ソフトウェア方式設計
3. 業務プロセスの設計
4. 運用・移行設計
5. システムテスト計画
6. 開発環境の構築
7. アプリケーション開発
8. アプリケーション基盤の構築・テスト
9. テスト(アプリケーションシステム)
10. テスト(システム受入・導入)
11. 導入
12. 保守計画
13. 問題管理
14. 保守の実施
15. 移行
16. システム又はソフトウェアの破棄
17. 再利用施策管理プロセス

※ 独立行政法人 大学評価・学位授与機構
「大学機関別認証評価 大学評価基準」を
参照して実施



情報・IT系職業実践専門課程に適した第三者評価基準書を作成

第三者評価基準書

平成 26 年度文部科学省事業
「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進

職業実践専門課程（情報・IT 分野） 第三者評価基準書 (Ver.2.0)

**基準4 学修成果にて、
「学修成果の評価基準書
作成手順」を参照して、学
修成果の評価項目を明
確にする必要性を記述**

平成 27 年 3 月

目次

1 評価の目的	3
2 基本の方針	3
(1) 評価基準の構成	3
(2) 評価の観点	3
(3) 評価方法	4
情報・IT 分野第三者評価基準	5
基準1 教育理念・目標	5
基準2 学校運営	5
基準3 教育活動	6
<u>基準4 学修成果</u>	8
基準5 学生支援	9
基準6 教育環境	9
基準7 学生の受入れ募集	10
基準8 教育の内部質保証システム	11
基準9 財務	12
基準10 社会貢献・地域貢献	12
基準11 国際交流（必要に応じて）	12
付録 学修成果の評価基準作成手順	

基準4 学修成果

この基準では、認定課程が目的・目標に設定されている学修成果等について評価します。
情報・IT 分野における認定課程のカリキュラムや学修成果が、実践的な職業教育の視点
に立った内容となっているか、また、その上で適切な評価が実施されているかについての
具体的な評価項目は、育成する人材像に沿って学校ごとに定めることが望まれるため、別
紙にて明確にしておく必要があります。(具体的な評価項目の作成手順については、付録「学
修成果の評価基準作成手順」を参照)

4-1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基
準で実施されているか

第三者評価実施手順書（案）

平成 26 年度文部科学省事業

「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進

職業実践専門課程（情報・IT 分野） 第三者評価実施手順書（案） （Ver. 1.0）

平成 27 年 3 月

目次

はじめに	3
第 1 章 第三者評価実施の流れ ー概要ー	3
1. 職業実践専門課程（情報・IT 分野）第三者評価のポイント	3
（1）アウトカムに基づく学修成果の評価	3
（2）評価基準の国際的通用性の確保	3
2. 第三者評価ならびに自己点検・評価の進め方	4
第 2 章 第三者評価実施への取り組み手順	5
I. 事前準備	5
1. 第三者評価基準及び自己点検・評価表の理解	5
2. 第三者評価及び自己点検・評価を行う体制整備	5
（1）評価実施責任者（教育の質保証についての責任者）	5
（2）内部監査員（内部質保証人材）チーム	5
3. 内部質保証人材の養成	6
II. 自己点検・評価の実施	6
1. 自己点検・評価表（案）の作成	6
（1）評価基準の構成	6
（2）自己点検・評価表（案）の作成手順	7
2. 学修成果の評価	9
（1）到達目標（アウトカム）の設定	9
（2）成績評価と学修成果の評価	10
3. 内部監査の実施	10
4. 自己評価報告書のとりまとめ	10
III. 第三者評価機関による評価の実施	11
1. 第三者評価機関への申請	11
2. 書類審査	11
3. 現地審査	11
4. 改善活動及び是正報告書の提出	12
5. 第三者評価報告書の公開	12
第 3 章 情報・IT 分野の第三者評価機関	12
1. 第三者評価チームの構成	12
2. 評価者（審査員）の養成	13
3. 第三者評価機関の役割	13